

第1号議案 第9期（2009年1～12月）事業報告

よこはま里山研究所（NORA）は第8期（2008年1～12月）に、少数の常勤事務局職員が運営を担っていた従来の体制から、多くの会員が運営に関わる新しい体制へと組織改革をおこなうとともに、受託事業に依存せずに活動できるように組織の基盤を強くしていく方針を確認した。これを契機として、「はまどまプロジェクト」が始動するなど、当事者意識を持った会員による自主事業が多様に展開する一方で、NORAとしての統一性を保持するために、さまざまな事業を調整する機関として運営連絡協議会を設置し、ホームページを会員参加型にリニューアルするなど制度上の改革もおこなった。

第9期は、こうした第8期の変革の勢いがそのまま流れ込んで、自主的な活動が全方向的に拡大した期間であった。ヤマ事業では、定例の「NORAの山仕事」を拡張し、県立旭高校と連携しながら「森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化」（「ヨコハマ市民まち普請事業」整備助成金交付）を進めた。ノラ事業では、「NORAの野良仕事」に加え、社会福祉法人グリーンと共働して「NORAの野良仕事・田んぼ編」にも取り組んだ。ムラ事業では、「はまどま」をコミュニティづくりの拠点としていくために、機能性を高める大幅な改修をおこなった（まちづくり市民財団「まちづくり人」応援助成金）。ハレ事業では、「開国博 Y150」に参画し、多くの会員の力を結集して、ベイサイド（5/2～6）とヒルサイド（7/28～8/3）への出展を遂行したほか、「月の音楽会'09」にも参加するなど、NORAの活動を広報するために意欲的にイベントに取り組んだ。また、恒例の「地モノ市」の開催や「まいたエコサロン」主催行事なども参加した。イキモノ事業では、新治里山公園のオープンとともに、特定非営利活動法人新治里山「わ」を広げる会へ協力するかたちで「旬の里山探訪」も始まった。広報事業では、ウェブサイトと「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」の連携を強めながら、定期的なサイト更新とメルマガ配信が可能となった。このように、各事業分野において、活動を大きく展開させた点は高く評価してよいだろうし、常勤職員がいないのに、これだけ幅広く活動できたことは誇りに思っただけでよいはずである。ただし、活動が拡大していくと、目的・目標があいまいになり、スタッフが負担感を覚える蓋然性も高くなるので、成果をみながら適正にバランスをとっていくことが重要になっていくだろう。

こうした自主活動の拡がりに加えて、近年減少傾向となっていた受託事業も増加の兆しが見えた。この背景には、横浜市が2009年度から5年間「横浜みどり税」を導入して「横浜みどりアップ計画」を進めていることや、生物多様性の観点から里山保全に関わる国や地方自治体の施策が確実に増えていることがある。第8期に、受託事業を積極的には受注しないという短期的な事業方針を確認しているが、今後の受託事業に対する構えについては検討する余地が大きいだろう。

さらに、第9期の特徴として、青少年の自立支援をおこなっている特定非営利活動法人リロードとの協働事業を開始したことも挙げなければならない。これによって、NORAの活動範囲が、環境分野だけではなく広義の福祉分野も含むことを明示できるようになった。NORAのキャッチフレーズは「里山とかかわる暮らしを」であるが、このように人と里山の距離を近づける実践を通して、人も里山も生きることを示していくべきだろう。

以上のように、第9期のNORAを振り返れば、会員が持てる力をいかに発揮し、多様な活動に精力的に取り組んだことで、かつてない大きな成果を得ることができた。けれども、いまだに事務局長は不在で、常勤職員を1人も雇用できないという現実がある。2009年は、現体制のNORAの可能性を十分に示しただけでなく、その限界も露わになった年であった。2010年はNORAの設立10周年に当たる。この1年は、刺激に満ちた第9期の経験をもとにして、今後の10年が期待に胸躍るものとなるような新しいビジョンと、それを実現するための新たな組織体制を構想する年としなければならない。

自主事業

1. ヤマ事業

1) NORA の山仕事

川井緑地保全地区（横浜市旭区下川井町）をフィールドに、「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくとともに、森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する活動をおこなっている。毎月第2・第4日曜日が定例活動日であるが、2009年は「ヨコハマ市民まち普請事業」と並行して事業を実施した。のべ参加人数は371名であった。

実施日	活動内容	参加人数	備考
1月11日	常緑樹の除伐	3	
1月25日	常緑樹の除伐	4	
2月8日	事業説明（午前） 皮むき（午後）	12	
2月22日	林床整理（除伐丸太の移動 積上げ）	9	
3月8日	林床整理 落葉樹苗のポット上げ	7	
3月22日	安全講習会の倒木整理 ひっぱりだこ	4	
4月12日	旭高校引継ぎ 林床整理 常緑樹間伐	10	
4月26日	間伐材製材（Y150） 間伐材整理	10	
5月10日	常緑樹の除伐 丸太の皮むき 製材	9	
5月24日	雨天中止	0	
6月14日	AM旭高校にて事業説明 PM新拠点の下草刈り	6	
6月28日	休憩場の図面と模型説明 除伐&草刈（製材）	7	
7月12日	除伐 草刈 苗畑雑草取り	4	
7月26日	車止め製作	3	
8月9日	除伐 車止め製作	8	
8月23日	除伐 車止め製作 ニセアカシヤ駆除	9	
9月13日	万能鋼板沿いの除伐 PMチル使用	4	
9月27日	万能鋼板沿いの除伐、草刈	5	
10月11日	万能鋼板撤去	10	
10月25日	雨天中止	0	
11月8日	まち普請事業「植栽植付け」の為の準備作業（穴掘り） 西側道路斜面地の除伐	82	旭高校生 50名 PTA20名
11月21日	クリーンアップ（外周道路の植栽植付け）	156	旭高校生徒 ・PTA150名
12月13日	チップパー補助 樹皮清掃 旭高校打合せ	5	
12月27日	樹名板づくり準備	4	

371

2) 森に隣接した旭高校外周道路のコミュニティ空間化（ヨコハマ市民まち普請事業）

川井緑地と旭高校との間には高校所有の外周道路がある。人通りが少なく、緑地への不法投棄が絶えなかったため、地域や高校生の協力を得て、5年間にわたってクリーンアップをおこなった。現在では、高校側の調整により道路の車両通行止めが実現し、不法投棄できない安全な場所へと変わっている。

保全作業によって川井緑地は快適な森になり、その緑に囲まれた道路には、高校側にソメイヨシノの列植がある。そこで、この旭高校外周道路を、四季折々の変化があつて、安全で快適なコミュニティ空間へと変貌させ、「地域の名所」として親しまれるようにしたいと考え、これを平成20年度ヨコハマ市民まち普請事業として提案したところ採択された。

実施日	活動内容	参加人数	備考
1月26日（月）	まち普請現地視察調査	3	
1月31日（日）	まち普請2次審査	5	三浦副校長 高橋教諭
6月14日（日）	旭高校と事業予定について協議 校内物置の使用許可	7	
8月17日（月）	旭高校へ事業の進捗説明	3	
9月3日（木）	横浜市北部公園緑地管理事務所へ事業打合せ	3	
9月26日（土）	石黒建設が丸太材を搬出	0	
10月2日（金）	神奈川県より道路使用許可を受託	0	
10月3日（土）	櫻井さんへ事業進捗説明	4	
10月5日（月）	まち普請事業工事着手（石黒建設）	0	
10月11日（日）	万能鋼板撤去作業 旭高校と打合せ	3	
10月18日（日）	デッキ3施工場所の枯れ木伐採	2	
11月5日（木）	旭高校にて生徒やPTAへ、事業協力説明会を実施	2	
11月7日（土）	石黒建設工事完了	0	
11月8日（日）	植栽施工準備（穴掘り） 工事完了検査実施（横浜市）	12	
11月20日（金）	植栽1800株搬入	2	
11月21日（土）	植栽植付け	6	

52

3) 連続講座「森づくり舵取り技術（管理計画作成技術）を身に付ける」（三井物産環境基金活動助成）

三井物産環境基金から活動助成を得て、2008年には、森づくりのコーディネーターを育成する6回連続講座を開催した。2009年は、連続講座の内容を踏まえたガイドブックの作成に向け、専門家および講座参加者から意見を聴取し、構成を検討してきた。ガイドブックは2010年3月に発行を予定している。

また、特別編として「安全な伐倒技術を身に付けるための講習会」と題し、2009年3月にリスクマネジメント講座を実施した。横浜市内のみならず神奈川県内・県外からも参加者を得ることができた。

実施日	テーマ	講師	参加人数
3月14日（土） ～15日（日）	安全な伐倒技術を身に付けるための講習会	NPO 法人信州そまびとクラブ	20

2. ノラ事業

1) NORA の野良仕事

農作業を通して、自然と暮らす知恵や技や考え方を学び・身につけるとともに、いずれは自分たちの手で「野良仕事の場」を、身近に野良のある日常を創ることを目指すプロジェクト。1カ月に1回のペースで神奈川県内の農家を訪ね農作業をおこなった。

実施日	場 所	内 容	参加人数 +スタッフ	備 考
1月25日(土)	小田原市小竹 小澤さんの農園	人参の種まき	3+1	
2月21日(日)	小田原市小竹 小澤さんの農園	菜花の収穫	3+2	
3月21日(日)	小田原市小竹 小澤さんの農園	キャベツ畑・玉ねぎ畑の草取り、とうもろこし苗移植	6+3	
4月19日(日)	小田原市小竹 小澤さんの農園	トマト畑準備、玉ねぎの袋詰め、里芋の種芋植え、	5+2	
5月17日(日)	小田原市小竹 小澤さんの農園	トマト、きゅうりの芽かき、人参の収穫、落花生の殻むき	2+3	
7月19日(日)	小田原市小竹 小澤さんの農園	夏野菜の収穫、畑の草取り、きゅうり畑の手入れ	1+3	
8月16日(日)	小田原市下曾我 柏木さんの農園	ブルーベリーの収穫	3+3	
9月13日(土)	小田原市小竹 小澤さんの農園	きゅうり・トマト畑の片づけ、落花生収穫、出荷のお手伝い、ブロッコリー苗の移植	6+2	
10月18日(日)	小田原市小竹 小澤和義さん・ 小澤長男さんの 農園	とうがらしの収穫、畑の片づけ、玉ねぎ畑の草取り	5+3	2つに分かれ、「竹林の手入れ in 中井町」と合同作業
12月19日(土)	小田原市下曾我 柏木さんの農園	みかん収穫	3+3	

※6月、11月は悪天候のため休み。

36+25

2) NORA の野良仕事・田んぼ編

農作業を通して自然と暮らす知恵や技や考え方を学び・身につけるとともに、身近に野良のある日常を創ることを目指すプロジェクトの田んぼ編。社会福祉法人グリーンの田んぼをお手伝いするかたちで一年を通して携わり、映像記録を撮り一年のまとめを作成、上映した。

実施日	場 所	内 容	参加人数	備 考
4月12日(日)	十日市場田んぼ	田起こし	8	13:00~17:00
4月22日(水)	グリーン農園	種まき	2	10:00~16:00
5月1日(金)	十日市場水路	堀さらい	3	8:00~9:30
5月24日(日)	十日市場田んぼ	粗代かき	6	10:00~16:00
6月7日(日)	十日市場田んぼ	くろつけ、本代かき	7	13:30~18:00
6月14日(日)	十日市場田んぼ	田植え	14	10:00~18:00
6月28日(日)	十日市場田んぼ	草取り	8	15:30~18:00
7月11日(日)	十日市場田んぼ	草取り	8	15:30~18:30
8月8日(日)	十日市場田んぼ	かかし作り	9	15:00~18:00
8月30日(日)	十日市場田んぼ	すずめ対策	5	13:00~16:30
9月12日(日)	十日市場田んぼ	すずめ対策、溝切り	4	15:00~17:30
9月26日(土)	十日市場田んぼ	稲刈り	8	9:00~18:30
9月27日(日)	十日市場田んぼ	稲刈り後始末	6	8:00~10:00
10月8日(木)	十日市場田んぼ	台風後復旧作業	4	10:00~14:00
10月17日(土)	十日市場田んぼ	脱穀	8	13:00~17:00
11月1日(日)	グリーン農園 ・グリーン	粃摺り、精米、試食	9	14:00~20:30
12月3日(木)	はまどま	田んぼ一年の記録映像の上映、 試食	18	神奈川野菜の食 事会にて上映
12月27日(日)	十日市場田んぼ	田んぼ後仕舞	4	13:00~16:00

131

4. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト(まちづくり市民財団「まちづくり人」応援助成金)

毎月1-2回の運営委員会を重ね、里山と暮らしをつなげる様々な事業を展開した。2009年末時点で、はまどま運営委員9名、賛同者7名、プロジェクト数は6となっている。

また、「はまどま」の機能性を高めて地域に役立つ場としていくために、まちづくり市民財団から「まちづくり人」応援助成金を得て、厨房設備と収納に重点を置いた改修をおこなった。

さらに、開国博 Y150、月の音楽会'09、まいたエコサロンまつり、地モノ市などのハレ事業のための活動拠点としても「はまどま」は機能した。

(1) NORA 野菜市

(2) Marc 朝市

毎週火曜日 17~19時、大和ビル駐車場にて神奈川県内産・生産者限定の野菜市を開催している。身近な交流のできる生産者からの野菜市である。地域住民の暮らしに定着している。

2008年12月からは、第3土曜日9時~11時に Marc (マール) 朝市を始めた。1年が経過し、少しずつだが地域の暮らしに役立ち地域に定着する可能性が見えてきた。

出会いの場、コミュニケーションの場としての朝市・野菜市の可能性が感じられる。野菜市の利用をきっかけに、NORA 主催行事への参加や、入会につながるなどの広がりが生まれてきた。野菜市のボランティアスタッフとしての参加や、集荷への同行などが、より頻繁におこなわれるようになってきた。

(3) 神奈川野菜の食事会

会員および会員の紹介者が交流し学習する場として、毎月第1木曜日の夜に開催し、2009年12月時点で通算34回となった。2009年の参加者数はのべ262名で、会員を勧誘する機会にもなっている。

「はまどま」の誕生以後は参加者も増加し、さらに厨房設備の機能が向上したことによって、内容の多様化と充実、開催頻度の向上が期待できる。

実施日	内 容	参加人数
2月5日(木)	イノシシ鍋	26
3月5日(木)	モツ鍋	27
4月2日(木)	わかめづくし	25
5月7日(木)	山茂丸・岩崎さんからのサンマ、イワシづくし料理と甘夏寿司	22
6月4日(木)	とにかく野菜づくし(蒸し野菜、焼き野菜、サラダ等)	26
7月2日(木)	完熟トマトの野菜たっぷりスープ、中津ミートの野菜巻き	25
8月6日(木)	流しそうめん	34
9月3日(木)	夏野菜のグリルカレー&月音出展 Marc さん特製キーマカレー	20
10月1日(木)	長井の鰹の刺身、羽釜ご飯のおむすび	16
11月5日(木)	スズキ・サンマの刺身、野菜たっぷり汁、はまどまロール	19
12月7日(月)	野良仕事・田んぼ組のお米、野菜たっぷり汁、はまどまロール	22

262

(4) 旬の野菜の食べ方知恵袋

神奈川県産の野菜で料理を作ることで、神奈川県産の旬・生産者・産地を知ってもらうとともに、NORA 野菜市が繁栄することを目指した企画である。第4月曜日に定員8名として実施した。

2008年と比較すると1回当たり参加者数が増えた。また、調理環境が改善されたので、参加者も主催者も動きが良くなった。ただし、主催者側の準備に時間が掛かり過ぎている。

実施日	内 容	参加人数 +スタッフ	備考
2月23日(月)	白菜づくし	3+3	
3月23日(月)	春キャベツ	3+2	
4月27日(月)	タマネギづくし	4+3	
5月25日(月)	ジャガイモづくし	5+3	「神奈川県産の野菜の料理教室」から名称変更
6月22日(月)	万能和食の素	4+3	
8月24日(月)	パスタ	5+3	
12月7日(月)	飾り巻き寿司	4+3	

28+20

(5) 刃物研ぎの実演

NORA 野菜市と連携をはかりながら、美味しい野菜を切れ味のいい包丁でより美味しく食べるために実施した。NORA 野菜市にあわせて、毎月第1・第3火曜日 11～18時（4月に14～18時から変更）に受付し、野菜の展示や試食で夕方から始める市の前宣伝をおこなった。

2009年の総本数150本で、前年比で147%増加した。4月に受付時間を変更したことで、コンスタントに10本は預かるようになったが、月2回の実施回数を考えると十分ではない。

(6) 野を描く

季節や風景を記録として残す手段の1つの「描く」が楽しくなるような時間を目指した。目の前に咲く花や青い空を描くには…、それぞれの参加者の持つ表現方法がもっと広がりを持つように、ちょっとしたコツを伝えながら、近くの公園の身近な野から、三浦まで足を伸ばした遠征番外編、12月には念願の親子編も開催した。

実施日	参加者数	備考
1月31日(土)	3	
2月28日(土)	2	
4月23日(土)	7	「野袋会」三浦半島ツアー
6月27日(土)	4	
9月26日(土)	2	
11月28日(土)	4	
12月15日(火)	8	親子編

30

2) NORA の部活

会員による会員のための自主的な活動で、食とからだの研究部、つくり住まう部、はまどま一座、映画部、発酵部、里山生態系研究部、生物資源研究部がある。

4. ハレ事業

1) 開国博 Y150

2008年1月から580日の間に、のべ275名に上るボランティアの協力を得て、イベントの準備・実施をおこなった。パネルや映像などを使用して、NORAの活動を紹介し、里山の現状を伝えたほか、里山の恵み（資源）を活用した「竹の風ぐるま作り」ワークショップを通して、里山を守る大切さや里山とかわる暮らしの豊かさについて伝える機会を設けた。

5月2日（土）～5月6日（水）まで出展したベイサイド会場では377名の方が、7月28日（火）～8月3日（月）まで出展したヒルサイド会場では493名の方がワークショップに参加した。また、竹林の整備にともなって出た竹材を竹ひごに加工し、780本の竹の風ぐるまを製作して、ヒルサイド会場のエントランスに展示した。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
1月9日(金)	ヒルサイド打合せ	1	1
1月12日(月)	竹の切り出し	2	1
1月14日(水)	打合せ 坂本	1	1
1月18日(日)	竹の切り出し	2	1
1月19日(月)	竹ひご作り	1	1
1月22日(木)	竹ひご作り	1	1
1月27日(火)	打合せ Choji	2	1
1月29日(木)	竹ひご作り	1	1
1月30日(金)	竹ひご作り	1	1
2月1日(日)	竹の切り出し	3	1
2月15日(日)	竹の切り出し	2	1
2月19日(木)	竹ひご作り	2	1
2月26日(木)	竹ひご作り	0	1
2月27日(金)	竹ひご作り	0	1
3月1日(日)	竹ひご作り	3	1
3月3日(火)	竹ひご作り	0	1
3月4日(水)	竹ひご作り	0	1
3月6日(金)	竹ひご作り	0	1
3月7日(土)	竹ひご作り	0	1
3月11日(水)	竹ひご作り	0	1
3月15日(日)	竹ひご作り	0	1
3月19日(木)	竹ひご作り	0	1
3月25日(水)	竹ひご作り	0	1
3月26日(木)	竹ひご作り	1	1
3月29日(日)	竹の切り出し	2	1
4月1日(水)	竹ひご作り	0	1
4月2日(木)	竹ひご作り	0	1
4月3日(金)	竹ひご作り	0	1
4月5日(土)	竹ひご作り	0	1
4月6日(日)	竹ひご作り	2	1
4月8日(水)	竹ひご作り	0	1
4月9日(木)	打合せ 藤田 竹ひご作り&球編み	1 4	1 1
4月10日(金)	竹ひご作り	0	1
4月14日(火)	竹ひご作り	4	1
4月15日(水)	竹ひご作り	0	1
4月16日(木)	竹ひご作り	0	1
4月19日(日)	竹の切り出し	2	1
4月20日(月)	竹ひご作り	0	1
4月21日(火)	竹ひご作り	0	1
4月22日(水)	打合せ 坂本 丹治 打合せ レイアウト 竹支柱作り	1 4 0	2 1 1
4月23日(木)	竹支柱作り	0	1
4月24日(金)	竹支柱作り	0	1
4月25日(土)	竹支柱作り&球編み	2	1
4月26日(日)	Y150 竹支柱作り&球編み	3	1
4月27日(月)	竹支柱作り	2	1
4月28日(火)	竹支柱作り	2	1
4月29日(水)	竹ひご作り&球編み	7	1

4月30日(木)	竹支柱作り&球編み	3	1
5月1日(金)	ベイサイド搬入	1	1
5月2日(土)	ベイサイド	6	1
5月3日(日)	ベイサイド	6	1
5月4日(月)	ベイサイド	8	1
5月5日(火)	ベイサイド	5	1
5月6日(水)	ベイサイド	10	1

98

5月13日(水)	竹ひご作り	0	1
5月17日(日)	竹ひご作り	1	1
5月20日(水)	Y150 打合せ	1	1
5月21日(木)	竹ひご作り	0	1
5月27日(水)	竹ひご作り	0	1
5月28日(木)	竹ひご作り	0	1
5月29日(金)	竹ひご作り	0	1
5月30日(土)	竹ひご作り	0	1
5月31日(日)	竹の切り出し	3	1
6月3日(水)		0	1
6月7日(日)	風ぐるま加工	3	1
6月10日(水)	風ぐるま加工	2	1
6月11日(木)	球編み 展示用部材加工	4	1
6月13日(土)		0	1
6月14日(日)	ブース内レイアウト設営確認	7	1
6月15日(月)	球編み	1	1
6月17日(水)	球編み Y150 打合せ (坂本)	4	1
6月18日(木)	球編み 展示用部材加工	2	1
6月20日(土)		0	1
6月21日(日)	撥水材塗装作業	4	1
6月23日(火)	陳列棚づくり	1	1
6月24日(水)	展示用風ぐるま加工	4	1
6月25日(木)	展示用風ぐるま加工	3	1
6月29日(日)	780個(156組)の風ぐるまを斜面に設置	6	1
7月1日(木)	玉編み 竹ひご作り(削ぎ)	2	1
7月2日(金)	玉編み 竹ひご作り	2	1
7月6日(月)	玉編み	2	1
7月7日(火)	玉編み	2	1
7月8日(水)	玉編み 竹ひご作り	3	1
7月9日(木)	玉編み 竹ひご作り	3	1
7月12日(日)	玉編み	2	1
7月13日(月)	玉編み	2	1
7月15日(水)	玉編み 竹ひご作り	6	1
7月16日(木)	玉編み 竹ひご作り	3	1
7月17日(金)	スタッフ事前ミーティング	5	1
7月18日(土)	玉編み	1	1
7月19日(日)	竹の切り出し	5	1
7月20日(月)	竹ひご作り(削ぎ)	2	1
7月21日(火)	玉編み 竹ひご作り	5	1
7月22日(水)	玉編み 支柱づくり スタッフ事前ミーティング	2 7	1 1
7月23日(木)	玉編み 支柱づくり	2	1
7月24日(金)	玉編み 支柱づくり	2	1

7月27日(月)	ヒルサイド搬入	6	1
7月28日(火)	ヒルサイド	5	1
7月29日(水)	ヒルサイド	6	1
7月30日(木)	ヒルサイド	4	1
7月31日(金)	ヒルサイド	4	1
8月1日(土)	ヒルサイド	14	1
8月2日(日)	ヒルサイド	12	1
8月3日(月)	ヒルサイド&撤去搬出	15	1
9月28日(月)	ヒルサイド展示風ぐるま撤去	7	1

177

2) (伊勢佐木町) 地モノ市

2009年11月29日(土)、第9回「あなたとともにエコロジーイセザキ」(伊勢佐木町エコ委員会主催)に参加するかたちで、第8回「地モノ市」を伊勢佐木町6丁目で開催した(スタッフ9名)。2005年7月に伊勢佐木町5丁目で初めて開いてからこれまでの間に、地産池消や食への関心は高まり、一方で経済的な社会不安が深刻さを増しており、「地モノ市」の目的や販売方法などを見直す必要が生じてきた。そこで、NORAの活動紹介、交流の場づくり、試食の充実を図ったが、成果を得られるところまでは達しなかった。それでも、第8回「地モノ市」では、日頃の野菜市の利用者が新たにスタッフとして参加したほか、年1回の開催にもかかわらず、地域で待望されるようになったことを実感できた。Marc朝市などでスタッフが参加する機会が増え、地モノ市でも、そうした経験が活かされた。

以前は珍しかった地モノ市が、日常に「あたりまえ」にある地モノ市への移行期に入ったとすれば、華やかでなくても着実な「顔の見える関係」をこれからも心がけたい。

3) まいたエコサロンの会

まいたエコサロンの会は、蒔田公園環境活動拠点(愛称:まいたエコサロン)において、地域から環境行動を推進するための機会の提供、情報発信、交流・連携の促進を目的に、2008年3月に環境活動団体と横浜市環境創造局が協定を結び設立した。2009年は、毎月第3木曜日の定例会議、『まいたエコサロンニュース』の発行のほか、各団体が持ち寄り連続講座を開催した。

NORAは5月16日(土)に、小学生を対象とした蒔田公園の自然観察とペレットストーブ「キリン君II」の燃焼実演をおこなった。このときは、日枝小学校放課後キッズクラブの小学生たち18人が参加した。10月24日(土)には、14の環境活動団体と環境創造局が連携し、「まいたエコサロン秋祭り」を開催した。NORAは、「草っぱらで自然発見&オガクズカフェ」と題し、キリン君IIで焼いたサツマイモやお茶を振る舞いながら活動紹介をおこなった。また、「環境活動サロン」において、環境教育を学校で進めている先生と意見交換・交流する機会を持った。

4) 新治里山公園公開記念シンポジウム(地域づくり団体等活動支援事業)

2009年4月に新治里山公園が一部開園をしたことを記念し、5月30日(日)に、新治地区で活動する6団体との協働で、シンポジウム「里山を未来につなぐ~地域のチカラをつなごう」を開催した。各団体がそれぞれの得意分野(バームクーヘン、小学校との連携、シンポジウム運営、全体コーディネーター等)を発揮して、イベントを実施することができた。テーマのとおり、1つの事業を成功させるために新治の活動団体が集まり、顔の見える関係を築けたことが大きな成果となった。

5) 環境ボランティア見本市 2009

6月20日(土)、地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)主催の「環境ボランティア見本市」に、多くの環境系市民団体とともに出展し、NORAの理念や活動を伝えた。また、企業とNPOのマッチング交流会にも参加した。

6) 月の音楽会'09

2009年9月5日(土)、八景島シーパラダイス「イベント広場」で開催された「月の音楽会'09」(株式会社ツキオン・エンターテイメント主催)に、NORAは協力団体として参加した。この音楽会は、「日本人らしい音楽の楽しみ方を!横浜の日常に、気軽に誰もが楽しめる野外ライブを!」というコンセプトのもと、横浜開港150周年を「アイランドエリア」にて手づくりで祝いたいという会員Chojiの思いで7年ぶりに復活した。主催者によると、来場者人数は350名、スタッフを含めると約500名であった。

NORAは会場を取り囲むブースで、竹の風ぐるまワークショップを実施し、レモンドリンクとブルーベリーを販売した。また、Y150ヒルサイドから竹灯り30基を借用し、展示デザインと点灯作業を担当した。日没に合わせて「浜っ娘音頭」を踊ったとき、この盆踊りを浴衣を着たNORAメンバー12名がリードした。ハレの場では、日々の地道な営みを土台にして、出会った力、蓄えた力が合わさり、より大きな力を発信することも可能になる。日頃の活動の積み重ねとつながりが、NORAのテーマソング「里山劇場」を作詞・作曲したChojiを中心に「祭り」の形となり、今後に向けて貴重な経験の場となった。

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

特定非営利活動法人新治里山「わ」を広げる会が実施している当イベントへの協力という形でおこなっている。1月、8月を除き、毎月第3日曜日に、新治市民の森周辺の散策会を実施することができた。春秋には、参加者が15人を越えることもあった。

6. 広報事業

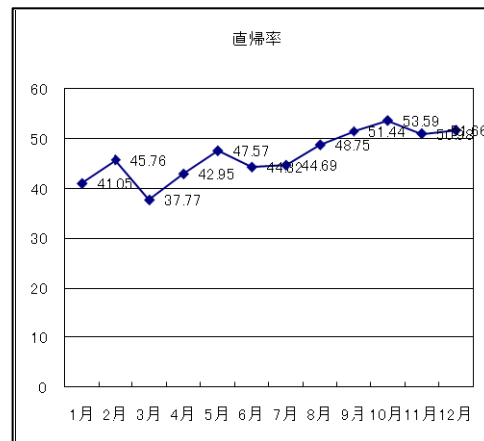
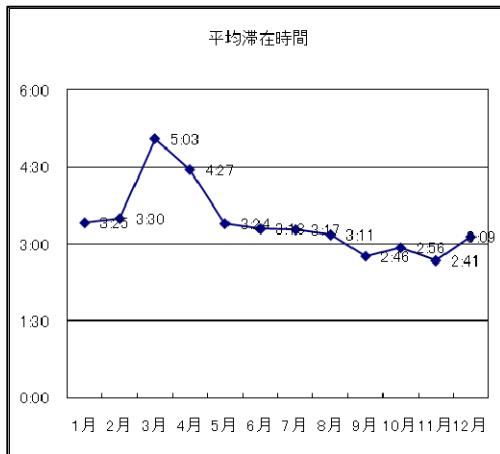
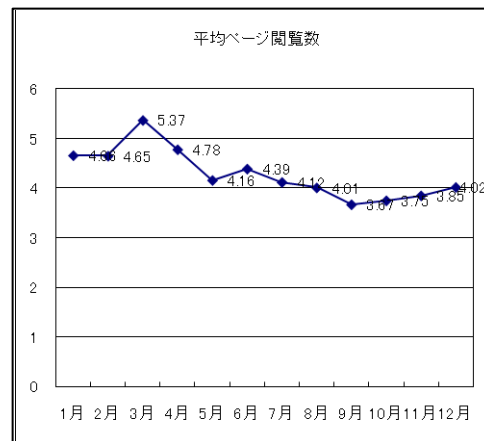
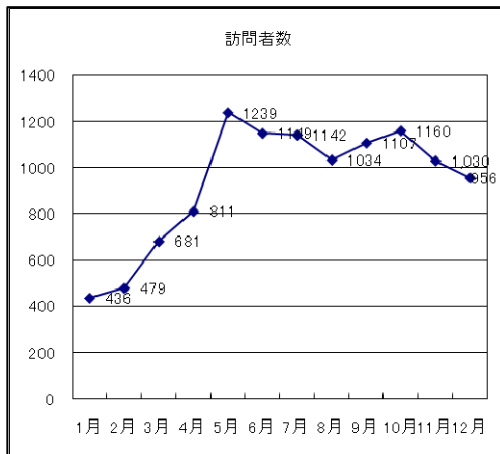
1) サイトリニューアルの効果測定とパンフレットの刷新 (Panasonic NPO サポートファンド助成)

2008年10月にリニューアルしたサイトについて、アクセス解析による概況の把握、新Webサイト開設後のユーザーの反応、ヒアリングによる関係者の印象の把握により効果測定をおこなった。以前よりもコンテンツが増え、多様な活動が表現されているほか、会員が自ら更新する仕組みにしたことで会員の参加意識が高まったなどの効果が認められた。一方で、セッションや滞在時間の減少、直帰率の増加傾向が顕著であるなどの問題が挙げられたことから、これらの対策をとることが課題となっている。

2) ウェブサイトの更新

各プロジェクトのカレンダー告知、報告のブログアップに多くの会員が参加した。1か月ごとにNORAからのニュースを2~3ピックアップ、月交代でプロジェクトに焦点を当てて紹介する記事を掲載した。

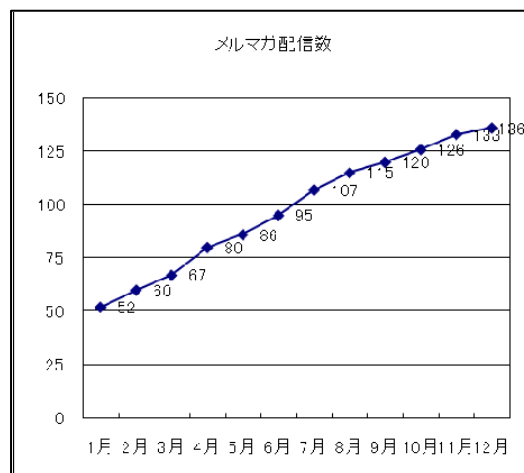
1~5月に訪問者数が増えたが、それ以降は減少傾向にある。また、平均ページ閲覧数、平均滞在時間、直帰率もそれぞれ数値は次第に悪くなっており、対応の必要性が生じている。



3) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を、毎月1日に配信した。このほか、主催事業の広報のために不定期に配信することもあった。4月から、ウェブサイトとのリンクをさらに強め、7月からはコラム「イキモノのにぎわい」の連載が始まった。

このメルマガは、会員には会員メーリングリスト経由で、事務局が把握している会友・関係者にはダイレクト・メールで配信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ!」での配信もおこなっており、読者数は1月の52名から12月の136名へと順調に増加した。



受託事業

1) 里山づくり推進事業/条例に基づく地域選定の促進のための調査業務（神奈川県環境農政部）

平成 20 年 4 月 1 日に施行された「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づく、地域選定の候補地調査。地域活動が盛んであろうと思われる農業集落 140 件程度を絞り込み、代表者アンケートを経た後、16ヶ所を対象にヒアリング調査を実施した。調査後、地域の機運、地域にかかる制度の状況整理など、地域選定までに必要な検討事項を整理し、フローチャートを作成し提案とした。

2-1) 区の花「さくら」リサイクルシステムの検証業務〔平成 20 年度〕（横浜市南区）

南区では、大岡川プロムナードの再整備によって伐採されるさくらを有効に活用するため、平成 19 年度に、「さくらリサイクルの仕組み」を策定した。これを受け、20 年秋に伐採されるさくらを対象に、その仕組みを運用し、検証を行った。募集時に「さくらの記憶～伐採木活用プロジェクト」と名称をあらため、6本の伐採が行われたが、幹部分を製材に回せたのは1本のみであった。135件もの応募があり、抽選となった。地元の「さくらボランティア」の協力を得て、受け渡しを行った。個人情報の取扱いや土木事務所との調整など、区役所が担うコーディネーターが重要であることが明らかとなった。

2-2) 「さくらの記憶」伐採木活用プロジェクト業務〔平成 21 年度〕（横浜市南区）

前年度に引き続き、伐採木の活用プロジェクトを受託した。本業務では6本のさくらを伐採した。前年よりも区民に渡す際の材の形状を単純化し（板をやめて玉切りのみとした）、経費や作業の簡略化をおこなった。2月中旬に区民へ引き渡される。

3-1) 環境ボランティア事業（特定非営利活動法人リロード）

ひきこもり・ニートと呼ばれる「若年無業者層」の若者たちが、環境ボランティア活動に関わることにより、個々の抱える課題を克服し社会参加するための、自信を取り戻すきっかけ作りを担うために、リロードとの協働事業をおこなっている。

花と緑あふれる公園づくり（公園愛護会活動）

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月6日	遠路植栽刈込み 椿剪定	3	2	
1月13日	椿剪定	1	2	
1月20日	山裾笹刈り つる外し	3	3	
1月27日	椿剪定 山裾狩り払い	2	2	
2月3日	山裾笹刈り	4	2	
2月6日	コナラ植樹 焼き芋	3	2	
2月10日	椿剪定	0	3	
2月17日	斜面植栽部の落ち葉かき出し	3	2	
2月24日	則面よこ東側遠路の落ち葉清掃	1	2	
3月3日	則面よこ東側遠路の落ち葉清掃	2	2	
3月6日	公園のり面落ち葉清掃、U字溝	2	2	
3月10日	公園西側園路と緑地、落ち葉清掃	2	3	
3月17日	常緑広場の落ち葉清掃、土留め施工	2	2	

3月24日	プランターと花壇の花植え、花壇柵設置	0	3	
4月3日	縁石沿いの草刈	2	3	
4月7日	草刈 ふれあい公園	2	4	
4月21日	草刈 ふれあい公園	2	2	
5月5日	祭日の為実施無し	0	0	
5月8日(金)	雨のため中止	0	0	相談センター見学
5月19日(火)	笹刈り後の片付け、遊具裏の芝エリアの草刈	4	4	
6月2日(火)	プランター&花壇の土壌改良作業	2	2	
6月5日(金)	プランター土壌改良&花苗の植え付け	2	2	
6月16日(火)	草刈&ツツジの刈込み	1	4	相談センター ふりかえり実施
7月3日(金)	草刈&ツツジの刈込み	1	3	
7月7日(火)	草刈応援作業	2	2	
7月21日(火)	草刈&ツツジの刈込み	3	3	
8月4日(火)	草刈&ツツジの刈込み	1	3	
8月7日(金)	草刈&ツツジの刈込み	5	2	
8月18日(金)	草刈&ツツジの刈込み&ゴミ拾い	6	3	
9月1日(火)	草刈&ツツジの刈込み	3	3	
9月4日(金)	草刈&山裾ツル外し	1	3	
9月15日(火)	草刈&ツツジの刈込み	4	3	
10月2日(金)	低木植栽刈込み(東側入口)	5	3	
10月6日(火)	低木植栽刈込み(東側入口)	2	2	
10月20日(火)	低木植栽刈込み(東側鉄塔下)	5	3	
11月6日(金)	低木植栽刈込み(東側園路沿い)	3	3	
11月10日(火)	花壇・プランター土壌改良 花苗植付け	3	2	
11月17日(火)	花壇・プランター土壌改良	0	2	東永谷桜台公園 愛護会
12月1日(火)	東側園路の刈込み	6	2	
12月4日(金)	東側園路の刈込み	6	3	
12月15日(火)	中央斜面の刈込み	6	3	

105

101

天王町野菜市

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月10日	神奈川県産野菜の販売	2	2	
1月24日	神奈川県産野菜の販売	3	2	
2月14日	神奈川県産野菜の販売	4	3	
2月28日	神奈川県産野菜の販売	3	3	
3月14日	神奈川県産野菜の販売	3	3	
3月28日	神奈川県産野菜の販売	3	3	橘神社フリーマーケット実施
4月11日	神奈川県産野菜の販売	3	3	
4月25日	神奈川県産野菜の販売	1	3	
5月9日	神奈川県産野菜の販売	3	2	
5月23日	神奈川県産野菜の販売	3	1	
6月13日	神奈川県産野菜の販売	3	2	
6月27日	神奈川県産野菜の販売	3	1	
7月11日	神奈川県産野菜の販売	3	2	
7月25日	神奈川県産野菜の販売	3	1	
8月8日	神奈川県産野菜の販売	6	2	
8月22日	神奈川県産野菜の販売	5	1	

9月12日	神奈川県産野菜の販売	3	3
9月26日	神奈川県産野菜の販売	3	2
10月10日	神奈川県産野菜の販売	3	3
10月24日	神奈川県産野菜の販売	2	2
11月14日	神奈川県産野菜の販売	2	3
11月28日	神奈川県産野菜の販売	2	2
12月12日	神奈川県産野菜の販売	3	2
12月26日	神奈川県産野菜の販売	2	2

71

53

南太田野菜市

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月16日	神奈川県産野菜の販売	1	2	エントランスにて実施
2月20日	神奈川県産野菜の販売	1	2	エントランスにて実施
3月20日	神奈川県産野菜の販売	2	2	エントランスにて実施
4月17日	神奈川県産野菜の販売	1	2	
5月15日	神奈川県産野菜の販売	1	2	
6月19日	神奈川県産野菜の販売	1	2	
7月17日	神奈川県産野菜の販売	1	2	
8月21日	神奈川県産野菜の販売	2	2	
9月18日	神奈川県産野菜の販売	3	2	
10月16日	神奈川県産野菜の販売	2	2	
11月20日	神奈川県産野菜の販売	2	2	
12月18日	神奈川県産野菜の販売	2	2	

19

24

持続可能な森づくり (NORAの山仕事導入編)

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月23日	常緑樹間伐 皮むき	2	2	
2月27日	雨天中止	0	0	
3月27日	林床整理 樹皮焼却処理 常緑樹伐採 皮むき	3	2	
4月24日	除伐作業 パン焼き	3	2	
5月22日	森の散策	3	2	
6月26日	除伐 皮むき 除伐材の片付け	4	2	
7月24日	雨天のため中止	0	0	
8月28日	除伐	2	2	
9月25日	万能鋼板沿いの除伐	1	2	
10月23日	西側道路斜面地の除伐	1	2	
11月27日	除伐	3	2	
12月25日	デッキ裏の除伐	5	2	

27

20

ヨコハマで農業体験

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月17日	キャベツ白菜畑片付け	1	2	
2月7日	小松菜抜き 里芋畑片付け	3	2	
3月9日	カブ畑の片付け そら豆の添え木作り 大和芋の収穫 春野菜の種まき	1	2	月曜日に実施
4月4日	そら豆畑の片付け とうもろこしのビニール掛け 茄子畑の片付け たけのこ堀 西谷ねぎの収穫	3	2	昼食時にお花見

5月18日	畑の草刈 レタス畑の片付け 夏野菜のビニール外し トマトの支柱立て	5	2	月曜日に実施
6月6日	ゴーヤ支柱立て&ネット張り	3	2	
7月4日	生姜畑の雑草取り	2	1	
8月5日	ブルーベリーの収穫 雑草取り 夏野菜の柵作り	1	1	水曜日に実施
9月5日	キャベツ&ブロッコリ間引き、白菜の種まき	0	2	
10月3日	草取り さつま芋の収穫 種まき	2	2	
11月7日	さつま芋の収穫 白菜畑の片付け 玉葱の草取り その他収穫	4	2	
12月5日	種まきをした野菜の収穫	2	1	
		27	21	

もったいないから竹細工

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月24日	四つ目籠	8	1	
2月21日	六つ目籠	8	1	
3月21日	六つ目花かご仕上げ	8	1	
4月18日	四つ目籠	7	1	
5月16日	四つ目籠づくり(2日目)	10	1	
6月27日	六つ目籠づくり(1日目)	7	1	
7月18日	六つ目籠づくり(2日目)	9	1	
8月22日	六つ目籠づくり(3日目)	13	1	
9月19日	六つ目籠底編み(1日目)	8	1	
10月10日	六つ目浅籠(2回目)	6	1	第2土曜日に実施
11月28日	2連風ぐるま	8	1	第4土曜日に実施
12月26日	ミニ門松	8	1	第4土曜日に実施
		100	12	

竹林保全活動

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ	備考
1月10日	建仁寺垣補修	1	2	
2月14日	雨天中止	0	0	
3月14日	別事業実施の為 中止	0	0	
4月11日	筍ご飯	3	2	
5月9日	建仁寺垣補修	0	0	
6月13日	建仁寺垣補修	0	0	
7月11日	七夕祭りに伴い、定例作業なし	0	0	
8月8日	建仁寺垣補修&流しそうめん	3	2	
9月12日	フリマ出展の為中止	0	0	
10月10日(土)	参加休止	0	0	
11月15日(日)	真竹の除伐	3	1	中井町へ場所変更
12月16日(水)	真竹の除伐	5	1	
		15	8	

3-2) 社会参加・就労体験事業(横浜市青少年相談センター)

横浜市青少年相談センターへ相談に来た若者が、リロードと協働で実施している「環境ボランティア事業」のうち「花と緑あふれる公園づくり」と「持続可能な森づくり」に参加していた。これは、青少年相談センターがリロードへ委託した事業としておこなわれていた。12月からは、この事業について、NORAが青少年センターと委託契約を直接結び、若者を受け入れることにした。2010年3月までの契

約期間の間に、13回事業を実施する予定になっている。

4) 市民による里山育成事業（横浜市環境創造局）

市民と行政の協働による森づくりを促進するために、森づくりボランティア団体育成支援要綱に基づく登録団体等の既存活動のスキルアップ・課題解決に向けた以下の支援を実施した。

業務名	実施日	内容	備考
森づくりアドバイザーの派遣	11月21日(土)	パナソニックグリーンボランティアクラブに対し、全国森林インストラクター神奈川会から3名の講師を派遣。	残り4回は2010年1月～2月に実施。
里山のスキルアップ研修	11月28日(土)～29日(日)	氷取沢市民の森において、講師に小出仁志(森づくり安全技術・技能全国推進協議会顧問)を招き実施。	残り2回は2010年1月30日～31日に実施。
よこはまの森ニュースレターの発行	6月22日 9月28日 12月25日	市民による里山育成事業の紹介記事や森づくりボランティア団体の紹介等を編集。	残り1回は2010年3月に発行。

5) 150万本植樹行動標柱製作業務委託（横浜市環境創造局）

150万植樹を行った場所に設置する標柱の製作。市内の間伐材を使用し、手づくり感のあるものを使いたい、という意向から、新治市民の森愛護会の協力を得て12本の標柱を納入することができた。

6) 若葉台ほか2公園樹林地管理方針策定業務（横浜市旭土木事務所）

旭区若葉台周辺は、緑地を計画的に残して造成された集合住宅地域。もともとあった樹林地を活用して公園が配置されているが、手入れが行き届かず暗い状態ともなっており、地域住民からは不安な声もあがっていた。そこで、公園を管理する旭土木事務所と環境創造局企画課がタイアップし、地域住民とワーキンググループを結成して、3公園の樹林地の保全管理方針を策定することとなった。専門家との植生調査後、これまでに3回のワークショップを実施。現在、とりまとめを行っている。

7) 「生きものたちとの協働」構築プロジェクト（特定非営利活動法人循環の島研究所）

限界集落である佐渡島・安養寺集落の薪能の担い手等を確保するため、首都圏から薪能モニターの参加者3名を募集し、8月28日(金)～30日(日)に羽黒神社薪能の舞台づくりを手伝った。このほか、2010年2月に首都圏で安養寺の説明会を開催する。

8) みどりアップ事業「樹林地関連施策の計画整理」業務（景デザイン研究所←横浜市環境創造局）

2009年12月に議会決定した「横浜みどり税」の導入により、「横浜みどりアップ計画」が発表された。3本柱のうち、「樹林地を守る」施策の計画を具体的な事業へ展開できるようにロードマップを作成。局内でのプロジェクトチームでの意見を整理するとともにアドバイザーとして参画した。

委員・講師派遣

1) 委員

○吉武美保子

- ・神奈川県里地里山専門委員会
- ・神奈川県環境農政部公共事業評価委員会
- ・横浜市環境審議会生物多様性地域戦略部会
- ・横浜市緑区チャレンジ提案事業審査会（～2009年3月）
- ・神奈川県立旭高校評議員

○松村正治

- ・神奈川県ボランティア活動推進基金幹事会
- ・平成20年度森林・林業基本対策推進事業（里山林再生戦略の確立に向けた基礎調査）検討委員
- ・平成21年度森林環境保全総合対策のうち生物多様性森林対策事業「里山林における国民参加による保全活動等の検討」専門アドバイザー

○丹治由美

- ・横浜市緑区チャレンジ提案事業審査会

2) 講師・執筆

○吉武美保子

- 2/2 横浜国大 地域連携と都市再生「農のある暮らしと里山保全」
- 2/7 SMP シンポジウム「谷戸の外來生物を考える」モデレーター
- 2/22 里山フォーラム in 麻生「未来につなぐ多様な里地里山」事例報告、パネリスト
- 3/15 本郷地区センター（栄区）「里山の魅力～荒井沢の自然」
- 5/8 横浜市大 オムニバス講座「横浜・市民による里山保全活動」
- 10/6 グリーン スタッフ研修 ファシリテーター
- 10/14 環境創造局 横浜・森の恵み教室 講師
- 10/30 よこはまかわを考える会 横浜「新治」方式の里山公園づくり～開園までの道すじを振り返る
- 11/21 神奈川県里地里山フォーラム コーディネーター
- 12/11 ヨコハマヘリテージ設立記念シンポジウム「明日につなげよう、みんなのたから横浜の歴史的資産」パネリスト
- 10月 季刊誌『横濱』no.26「丘の物語」 「里山がそばにある街で」執筆

○松村正治

- 4/18 シンポジウム「市民参加ー理念と方法」（丹沢大山自然再生委員会市民参加研究会）報告
- 7/13 明治大学の学部間共通総合講座「里山入門」 講義「里山にかかわって生きる」
- 10/11 神奈川県自然環境保全センター 自然観察指導技術研修会「里山の生物多様性、里山とかかわる暮らし」講師

○丹治由美

- 10/27 横浜市市民活動支援センター テーマ別座談会「土を感じる暮らし方」パネリスト
- 11/11 かながわトラストみどりの財団 湘南グリーンコネクション 2009 講師
JAPAN HOTSPOT「里山とかかわる暮らしを」執筆